



## 長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、  
長崎の暮らしを支え、  
社会の繁栄に貢献する。

## 経営理念

- 安全と安心** 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。
- 感謝のこころ** お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。
- 仕事への誇り** 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。
- 地域とともに** 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。

## 長崎バスグループ

長崎自動車株式会社	雲仙温泉青雲荘
長崎バス観光株式会社	長崎バスターミナルホテル
さいかい交通株式会社	みらい長崎ココウォーク
長崎バス商事株式会社	株式会社COCOアドバンス
長崎バス建物総合管理株式会社	五島自動車株式会社
長崎バス情報サービス株式会社	島原鉄道株式会社
長崎バスホテルズ株式会社	株式会社イズワークス
ホテル日航ハウステンボス	株式会社エヌタス

## 長崎バスグループ CSRレポート2024

長崎バス安全教育センター  
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト  
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

長崎バスグループCSRサイト  
<https://csr.nagasaki-bus.co.jp>

2025年2月発行



長崎バスグループは  
持続可能な社会の実現に向けて  
SDGsに積極的に取り組んでいきます

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年に国連で定められた全世界共通の目標です。17個の目標で構成されており、これらを達成することで2030年までに「誰一人取り残さない」より良い世界を目指します。

長崎バスグループは、これからもさまざまな事業を通じて、SDGsに掲げられている社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。



# 人と人 街と街を結ぶ

毎日の暮らしとともに  
長崎バスグループ



**CSR REPORT 2024**  
NAGASAKI BUS GROUP



# With the

# Community



社長あいさつ

## 原点に立ち返り 地域に貢献

お客様並びに株主様をはじめとするステークホルダーの皆様には、日頃より温かいご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

100年に一度の変革期を迎え魅力ある街づくりが進む長崎市域におきましては、昨年10月に、ジャパネットホールディングスが手掛ける長崎スタジアムシティが開業致しました。

また、長崎と韓国のソウルを結ぶ国際定期便の就航が5年7か月ぶりに再開されるなど、観光立県長崎の活気につながる明るい話題もありました。

そのような中、当社は「もっと便利で、もっと身近な長崎バスへ」をスローガンに掲げ、未来へつながる新たな取り組みをスタートさせました。

バスの接近情報がスマートフォンで確認できるバスロケーションシステムやバス待ち環境の改善につながるデジタルバス停を導入した他、バスの行先案内に関しましても、表示内容や経由番号を見直し、より視認性の高い白色LED行き先表示器に順次取り替えを開始しました。

さらに運輸の安全性向上に向け、長崎バス安全教育センターを一部署に昇格させ、人材育成と安全性向上の施策をワンストップで実践できる組織体制を構築しました。

これらの取り組みは、いずれも当社の経営理念に沿って実施したものです。

企業の社会的責任がより強く問われる時代において、経営の原点に立ち返ることが大切です。そして、当社の原点とは経営理念に他なりません。

「安全と安心」「感謝のこころ」「仕事への誇り」「地域とともに」の経営理念に基づき一人ひとりが考え判断し、具体的な行動に移す。その結果、お客様に喜ばれ地域の皆様に応援していただける会社へと成長することが当社の目指す理想です。

来年の創立90周年、そしてその先にある100年企業を目指し、今後も長崎の暮らしを支え、地域社会の繁栄に貢献すべく努めてまいりますので、長崎バスグループ各社に対し、引き続きご愛顧賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 森田 誠

地域とともに  
これからも

# もっと便利で もっと身近な 長崎バスへ

## ●バスロケーションシステム始動

令和6年4月1日から「バスロケーションシステム」の運用を開始しました。「バスロケーションシステム」の導入により、乗りたいバスの現在地や到着予定時間、混雑状況がスマートフォン上ですぐわかるようになり、より便利に安心してバスをご利用いただくことができます。

## ●観光地への移動が便利に

主な観光地を通過するバスの「経由番号」を分かりやすく整理し、加えて「行先表示」に観光地名を追加することによって、長崎を訪れる皆様の利便性を図りました。

今後は、海外からの観光客の皆様も利用しやすい長崎バスを目指すために、多言語に対応した案内表示や音声案内の整備を予定しています。

# リアルタイム

バスロケーションシステム

HOME バス停情報 バス接近情報 ※15秒ごとに自動更新

正面入口前（南部向）  
通過済みの便のみを表示する

新地中華街

6109 大浦線(60) 国立長崎病院行き 大浦経由	現在位置 まもなく	遅延予測 1分	混雑状況 空席あり
2314 ダイヤランド・下大橋線(40) ダイヤランド行き 戸町経由	現在位置 8停前	遅延予測 6分	混雑状況 やや混雑
30 団地行き	現在位置 12停前	遅延予測 --	混雑状況 --
90 地(60)	現在位置 15停前	遅延予測 3分	混雑状況 空席あり
	現在位置 24停前	遅延予測 定刻	混雑状況 空席あり
	現在位置 28停前	遅延予測 定刻	混雑状況 空席あり

## 観光地への経由番号 Route Number for Tourist Spot

グラバー園 Glover Garden	30	40	
大浦天主堂 Oura Cathedral	30	40	60
平和公園 / 原爆資料館 Peace Park / Atomic Bomb Museum	1	2	
長崎ロープウェイ Ropeway (Cable Car)	3	4	
めがね橋 Meganebashi Bridge	6		

## のりば案内 Pick-up Locations

新地中華街  
Shinchi Chinatown

長崎新地ターミナル内  
Nagasaki Bus TML

長崎/スターミナルホテル  
Nagasaki Bus TML Hotel

セブンイレブン  
SEVEN-ELEVEN

ファミリーマート

長崎空港行  
To Airport

マツモトキヨシ  
Matsumotokiyoshi

現在地  
You are here

1 2 3  
4  
6

30 40 60

北向  
南向

Single digits are Northbound  
Double digits are Southbound

※北向のバスは全て長崎駅を通過します。  
\*All Northbound buses will stop at Nagasaki Station.

# Community

SUSTAINABLE GOALS



## みらい長崎ココウォーク

### 地域社会

#### 長崎バスグループ大集合! 『長崎バスグループ祭』開催

令和6年11月2日、3日の2日間、長崎バスグループ16社が一堂に会する初めての「長崎バスグループ祭」を開催しました。

季節外れの台風接近に伴う雨の中、初日はココウォーク館内での開催となりましたが、翌日は晴天に恵まれ、屋上で開催することができました。各社趣向を凝らしたゲームや飲食の出店が軒を連ね、ステージでは長崎バスグループに関するクイズや豪華景品が当たる「じゃんけん大会」などが行われました。なかでも「バス停看板販売」や長崎バス、島原鉄道を模した「段ボール工作」は、バスグループならではの催しとして大変ご好評いただきました。また、1階エスカレーター横に設置したラッピングバスの車内では、子どもたちが運転士の制服や制帽を身に着けて運転席に座り、記念写真に納まる姿が多く見られました。

お客様へ日頃の感謝の意味も込めて開催した今回の祭りには、家族連れを中心に3000人を超える来場者があり、大盛況のうちに終えることができました。



笑顔に包まれた二日間  
みんなで作り上げたお祭りは  
大盛況&大成功!



#### 期日前投票所を開設

令和6年10月19日～26日、幅広い世代に投票していただくために、3階浜屋ココウォークプラザ前にて衆議院議員総選挙の期日前投票所が開設されました。お買い物のついでに投票できるとあって、多くの方にご利用いただきました。



#### 『も～も～ミルクまつり』 ココウォークでらくのう体験をしよう!

令和6年6月16日、長崎県酪農業協同組合連合会主催による「も～も～ミルクまつり」が開催されました。子どもたちに牛乳に対する理解を深めてもらうために、乳しぼり体験や酪農家の仕事など、楽しみながら体験し学んでいただけるイベントとなりました。当日の来場者数は約600名にのぼり、多くの親子連れでにぎわいました。



# Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## さらに観光しやすいバスへ

### ながさき観光ルートバス ルートを延伸 ラッピングデザインを一新

長崎市内の観光スポットを快適に移動できる「ながさき観光ルートバス」のルートを、グラバー園～長崎原爆資料館まで延伸しました。今回のリニューアルに伴い、平和公園、原爆資料館、眼鏡橋へのアクセスが便利になり、乗り継ぎなしで観光名所を巡ることができるようになりました。

また、令和6年12月14日よりラッピングバスのデザインを一新。淡いクリーム色のボディーカラーを基調とし、長崎市内の観光名所や建造物、ハタやあじさいなど長崎らしいモチーフをあしらったデザインに生まれ変わりました。

今後もさらに長崎の観光振興を図り、観光客の皆様の利便性向上を目指してまいります。



## 長崎市内バス・路面電車共通8時間フリーパス【期間限定】

### 長崎市内バス共通24時間乗車券「ながさき旅パス24-hour」【販売開始】

令和6年8月1日にスタートした「九州MaaS」に先行して、長崎バス、長崎県営バスおよび路面電車の指定エリアが8時間乗り放題になる企画乗車券「長崎市内バス・路面電車共通8時間フリーパス」を、令和6年7月1日～9月30日までの期間限定で発売しました。九州MaaSのプラットフォームであるスマホアプリ「my route」限定のデジタルチケットとして発売したこのチケットは、市民の皆様や観光客のシームレスな移動を可能にするために、3社局で取り組んだ初めての連携チケットとなりました。

また、令和6年12月20日からは第二

弾となる「長崎市内バス共通24時間乗車券～ながさき旅パス24-hour～」の販売を開始しました。指定エリアが24時間乗り放題となるこのチケットは、「8時間共通フリーパス」の利用者アンケート等を参考に、当社と長崎県営バスの2社局が連携して考案した企画乗車券となります。

今後も九州MaaSを通じて、運行事業者の垣根を越えた共創の取り組みを推進し、公共交通の利便性向上を図ると共に持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組んでまいります。



## 持続可能な地域公共交通に向けて

長崎バス・長崎県営バスでは、令和4年の長崎市域乗合バス事業共同経営計画第一版に続き、持続可能な地域公共交通の維持につながるために令和6年4月より重複路線における運行事業者の一元化を行いました。矢の平線・立神線（昼間のみ）は長崎バスに、本原線・立山（目覚町）線は県営バスに一元化し、比較的利用者の少ない昼間帯は、実態に即した運行便数を設定し、供給量の適正化を図りました。

また、可能な限り等間隔運行となるようにダイヤを調整し、減便によるダイヤのばらつきを解消しました。さらに、バス運転士の働き方改革関連法の施行に伴い、労働時間に関する規制が強化され、一部路線では最終便の繰り上げ運行を行っています。これにより通勤・通学に不可欠な朝の運行便数を維持しました。今後も長崎バスは県営バスや長崎市、地域の皆様と協働しながら、持続可能な地域公共交通を維持してまいります。



## グラバー園 × ハローキティ 開園50周年でコラボ企画

開園50周年を迎えるグラバー園と、同じく誕生50周年のハローキティがスペシャルコラボレーション。その事業の一環として、長崎バスのラッピングバスが走行しています。出発式には長崎市長をはじめ、交通・観光関係者らが出席しました。



## 下岳線 お別れの花束贈呈式



下岳線の最後の運行日となった令和6年9月30日、長年バスをご利用いただいていた近隣住民の皆様が、花束贈呈式を企画してくださいました。会場となった下岳バス停のすぐ側には手作りの横断幕が掲げられ、長崎バスの運転士へ花束とお手紙をいただきました。

これまで長らくご愛顧いただき、ありがとうございました。

## 安定の楽しさ！ えぬたん号バスツアーを開催

令和6年6月1日、(株)エヌタスと長崎自動車(株)による合同企画「えぬたん号バスツアー第5巻」を実施しました。恒例となっているモーターサービス部見学では、会場にタイヤ点検や車内放送・ドア閉鎖操作などの特別体験コーナーが設けられ、普段見るバスとは異なる光景に、子どもたちは終始目を輝かせていました。

回を重ねる毎に広く認知されるようになり、第5巻にして過去最高の応募者数となった本ツアー。今後も地域の皆様とのつながりを大切に、より多くの方々に長崎バスグループの魅力を発信していけるよう、活動を続けてまいります。





## 島原鉄道 鉄道むすめ『神代みさき』国見高校公式応援サポーターに就任

島原鉄道(株)の鉄道むすめ『神代みさき』が、長崎県立国見高等学校の公式応援サポーターに就任し、令和6年1月9日に同校にて就任式が行われました。学校行事や部活動の試合会場などに国見高校の制服とユニフォームをまとった『神代みさき』の等身パネ

ルのぼり旗を設置。公式応援サポーターとして、高校生の皆さんの活動を応援していきます。

また、国見高校の皆さんが島原鉄道車両に『神代みさき』のプチラッピングを施していただき、令和6年12月14日にはラッピング列車の出発式を行いました。



神代みさき

## 文化祭で校外学習の学びを発表 長崎大学教育学部 附属特別支援学校

令和6年6月27日、長崎バス安全教育センターにて長崎大学教育学部附属特別支援学校中等部の生徒を対象に、校外学習の受け入れを行いました。

また、令和6年9月28日に行われた文化祭では、校外学習で得た学びについて発表していただきました。生徒の皆さんは長崎バスの制帽を被り、手作りのバスや整理券を使って長崎バスを忠実に再現。趣向を凝らした内容に加え、安全に乗車するための注意をしっかりと捉えた上で発表されていました。



## 楽しく学ぼう! 子ども向けのバス教室を開催

長崎自動車(株)ではバスのご利用方法や乗車時のマナー、安全にバスをご利用いただくために幼稚園や小学校、学童保育等の子どもたちを対象にしたバス教室を開催しています。今年度は、11月10日に開催された時津町主催「とぎつふれあい産業まつり」にて実施。運転士の仕事をテーマに描かれた絵本の読み聞かせやバスの乗り方についてお話しするなど、子どもたちが関心を高めながら楽しく学習できるよう工夫を凝らしました。また、時津町と深い関係がある鬼塚道男車掌をテーマにした紙芝居の読み聞かせも行い、鬼塚車掌の尊い犠牲と勇気を多くの方に知っていただく機会にもなりました。

今後もバス教室を通じて、バスに親しみを持っていただけるように取り組んでまいります。



## 未来を担う子どもたちの 育成への取り組み

長崎自動車(株)では近隣の小学校や中学校、高等学校からの校外学習や職場体験を積極的に受け入れています。職場体験では、長崎バスグループの使命や経営理念を通じて「働くこと」の意義や大切さ、喜びを実感していただけるよう指導およびサポートをしています。また、校外学習では、子どもたちの学習の幅が広がるように各校の教育活動のねらいに合わせた対応を心掛けています。

今後も地域の教育機関との関わりを大切にし、次世代育成の取り組みを推進してまいります。



# Community

地域社会

## 長崎バス観光開発 振興基金

昭和61年に設立した長崎バス観光開発振興基金は、観光を通じて社会、経済、教育、文化、科学技術の振興等、広く時代の要請にこたえる事業への助成を行っています。

豊かな郷土づくりと人づくりに寄与することを目的としており、令和6年度は文化、観光、教育活動、音楽文化の振興を図るための助成を行いました。

今後も観光、文化、スポーツ、国際交流、教育、学術等の振興および自然環境保護を図るため、必要な助成を通じて長崎の未来を創造し、その繁栄に貢献してまいります。



## 安全教育センター 地域の機関へ 教習コースを提供

長崎バス安全教育センターでは、地域貢献の一環として関係自治体等を対象に施設提供を行っています。長崎市内の警察署や消防署、警察本部、消防団等の車両訓練が安全教育センターの教習コースを使用して実施されており、地域の皆様の安全教育の場として活用されています。



## ホテル日航ハウステンボス 体験型企業説明会に参加

令和6年10月4日、ホテル日航ハウステンボスは県内の高校で開催された体験型企業説明会に参加しました。中高生を対象に開催されたこの説明会は、仕事体験を通して県内企業や職種に興味を持ってもらうこと、将来に向けての選択肢や可能性を広げてもらうことを目的として企画されました。県内企業23社が参加する中、ホテル日航ハウステンボスはベッドメイクの仕事を体験していただきました。

将来ひとりでも多くの若い人材が、宿泊業への就職を目指してくれるよう、今後ともこのような取り組みを継続してまいります。



## エヌタス 長崎大学にて産学官連携授業に参加

(株)エヌタスは、令和6年11月～令和7年1月まで長崎大学情報データ科学部の学生マーケティング研究会ワークショップに参加しました。地方創生に向けた産学官連携授業として長崎大学、長崎市、長崎国際観光コンベンション協会、CCCMKホールディングス(株)が参加する中、実施されました。3回目となった今回のワークショップの受講学生は77名。

「Z世代を中心に長崎市に多くの方が集まるイベントの企画立案」をテーマとし、Vポイントの購買データやエヌタスカードにおけるバスの乗降データ等を用いて、熱のこもったプレゼンテーションがグループ単位で行われました。データ分析分野における若者の活躍と長崎観光の発展に向けて、期待が高まる有意義なワークショップとなりました。





毎日の暮らしとともに 長崎バスグループ

# Safety and Security

安全・安心

SUSTAINABLE GOALS  
DEVELOPMENT



## 安全教育センターの独立 安全推進課と統合

これまで人事部の所管であった安全教育センターを独立させ、同センターと自動車部安全推進課を統合しました。この度の独立・統合を通じて、以下の事項等に関してワンストップで対応が可能な組織体制を構築します。

- 運輸の安全性向上策の策定と実践
- 運輸の安全を担う人財の育成
- 運輸の安全に関する指導と教育
- 事故発生時における適切な対応

長崎自動車(株)は、お客様ならびに地域の皆様から信頼していただける企業を目指してまいります。

## 重大事故を想定した訓練

令和6年11月19日、長崎自動車(株)は異常事態対応訓練(重大事故訓練)を行いました。令和6年4月の会社機構の改編にともない、情報伝達や対応訓練、緊急対策本部設置に係る手順を見直すとともに、関係部署との連携・強化を図ることを目的として訓練に取り組みました。訓練を通じて連絡体制の見直しや情報伝達に関する改善点が挙がり、早朝や夜間を想定した事故、空港線・高速バスでの事故等、さまざまな状況を想定した訓練の必要性を実感しました。

今後も有事の際に冷静かつ迅速に対応できるよう、定期的な訓練を実施し、連携強化を図ってまいります。



## バス車両火災訓練

令和6年3月5日、桜の里営業所では消防訓練を行いました。バスから発生した火災を想定し、初期消火から消防への通報、乗客の避難誘導の手順を確認。消火器や消火栓の使い方も学びました。また、過去の事例をもとに自動車の炎上しやすい特性や初期消火の重要性を再認識し、防災に対する意識がさらに高まりました。



## 島原鉄道 × 県央消防本部 × 島原消防本部 踏切障害事故を想定した合同訓練

令和6年12月4日、島原鉄道(株)において県央消防本部、島原消防本部と合同で踏切障害事故を想定した通報訓練を行い、鉄道係員と消防機関との連絡体制の強化を図りました。また、島原鉄道(株)から消防機関へ車両構造の説明を行い、緊急時における鉄道車両からの乗客救助方法を確認したほか、島原消防署指導のもと、心肺蘇生法およびAEDの取り扱いの説明と実技訓練も行いました。

これからも島原鉄道(株)は、お客様に安心してご乗車いただくために日頃から消防機関と連携を図り、非常事態に備えた訓練を行ってまいります。



## 国指定史跡 出島にて合同火災訓練

令和6年1月26日、文化財防火デーに合わせて出島スタッフと消防署、消防団との合同防火訓練を実施しました。出島内の三番蔵からの出火を想定し、出島スタッフによる119番通報や初期消火、お客様の避難誘導、要救助者の救出等の不測の事態に備えた訓練に取り組みました。

国指定史跡である出島は国民の財産であり、お客様に安心してご来場いただけるよう、スタッフは常に防災に対して高い意識を持ち続けなければいけません。必要に応じて改善を図るよう努めてまいります。



## 長崎バス 安全再構築 労使一体の取り組み

令和6年4月から常務はじめ自動車部、人事部、安全教育センター、組合の各代表者が月に1度集まり、労使一体となって事故防止に取り組むための業務改善協議会を行っています。また、各営業所においては組合の支部長が点呼に立ちあい、運行管理者とともに運転士に注意喚起を行うことで、安全意識の向上につなげています。



## ハイブリットバス 新車10両導入

令和6年、長崎バスは新型ハイブリットバス10両を新たに導入しました。長崎バスは今後も大気環境の改善・地球温暖化防止に配慮した“環境にやさしいバス事業”を進めてまいります。

# Ecology

## 環境活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ハイブリットバスはガソリンで動く「エンジン」と電気でも動く「モーター」の2つの動力が搭載されており、走行条件に合わせて使いわけることができるため燃費の使用を抑えられます。



## 長崎バス建物総合管理 アルカリイオン電解水生成機導入でさらに環境にやさしく

長崎バス建物総合管理(株)では、従来使用していたワックス剥離剤や床洗浄洗剤、カーペット洗剤の使用を中止し、その代わりとなるアルカリイオン電解水生成機を導入しました。生成した電解水は合成界面活性剤や溶剤などの汚染物質を含有していないため、環境や人にやさしいといわれています。洗剤を使わないことで清掃作業の濯ぎの工程が軽減され、養生作業もより簡単にできるようになりました。作業効率が上がるとともに、電解水を自社で生成するため、洗剤購入に

かかる物流費の低減にも結びついています。長崎バス建物総合管理(株)は、これからも地球環境を保全するため環境負担軽減に取り組んでまいります。



みらい長崎ココウォークでの清掃の様子



アルカリイオン電解水生成機

## 長崎をきれいなまちへ 清掃活動を実施

長崎自動車(株)では各営業所単位で運転士が自ら発案し、日々運行している路線の清掃活動を行っています。バス停や路線のごみ拾い、生い茂った草木の刈り取りなどお客様が安全かつ快適にバスをご利用いただけるような環境を日々整えています。



## EVバスの勉強会に参加

令和6年11月27日、28日、長崎バス安全教育センターにて(株)EVモーターズ・ジャパン主催によるEVバス試乗会が開催されました。試乗会には県内のバス事業者をはじめ地方公共団体、民間企業の皆様が出席し、2日間で約60名が参加しました。当社の関係部署の担当者も試乗体験や安全教育センター内の教習コースにて運転を体験。次世代バスについて理解を深めることができました。

# トピックス Topics 2024

## 出島で着物文化を発信 着物レンタル「出島ホッペン」オープン

令和6年5月1日、国指定史跡出島和蘭商館跡内に着物レンタルショップ「出島ホッペン」がオープンしました。女性用、男性用、小さいお子様から大きいサイズまで、常時100着以上の着物をご用意しており、好きな1着をお選びいただけます。着物で出島を散策したり、出島ならではのフォトスポットで写真を撮ったり、さまざまな楽しみ方が可能です。

かつて多くの交流と文化の発展を担った出島。出島ホッペンもそのような存在となることを期待しています。



## 雲仙温泉 青雲荘 世界中の女性の健康を願い 「ホワイトリボンラン2024 長崎雲仙拠点」に参加

令和6年3月3日、青雲荘スタッフ9名が「ホワイトリボンラン2024 長崎雲仙拠点」に参加しました。ホワイトリボンランとは、3月8日の国際女性デーと連動させたチャリティアクションです。「走ろう。自分のために。誰かのために。」というスローガンのもと集まった参加者たちは、大会公式Tシャツを着用。各国の参加者とバーチャルでつながりながら、世界中にホワイトリボンのムーブメントを起こします。当日は天気にも恵まれ、雲仙の地獄周辺をゆったりと散策し、ホワイトリボンの支援活動を広めました。



## バスの廃部品 第二のスタートへ

長崎バス商事(株)は11月2日、3日に開催された「長崎バスグループ祭」にて、廃車になったバスの部品や路線廃止となったバス停の看板を販売しました。本来は廃棄となるものを大切にくださる方へ有償譲渡することで、需要と供給が成り立ち、新たな価値あるものへと変換することが出来ました。当日は、販売開始の数時間前から目的の商品を求めて行列ができるなど、多くのお客様にお越しいただきました。

新しい持ち主の元に旅立ち第二のスタートを切った商品の数々。今後も大切にさせていただけることを願っております。



## 次世代で長崎を盛り上げる 若手異業種交流会を開催

令和6年9月27日、長崎バスグループと三井住友銀行の若手社員による異業種交流会を行いました。「長崎の都市活力の向上には何が必要か」をテーマにグループディスカッションを行い、長崎の魅力や現状に着目。地域活性化に向けた意見を出し合いました。ディスカッションの中ではそれぞれの職種ならではの考えが挙がり、新たなアイデアや発想に触れる機会となりました。



## 長崎バス商事 健康経営優良法人2024に認定

長崎バス商事(株)は昨年引き続き、健康経営優良法人2024に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実施している企業や法人を日本健康会議が認定する制度です。

今後とも長崎バス商事(株)は健康経営に努め、従業員の健康促進に寄与してまいります。



## 打坂地蔵尊を 一部修繕

昭和22年9月1日、当時21歳の鬼塚道男車掌は、西彼杵郡時津村(現在の時津町)打坂で、乗客の生命を救おうと殉職しました。昭和49年、長崎バスは現地に鬼塚車掌の尊い犠牲と勇気を称えるための地蔵尊を建立し、毎年法要を行っています。今年も慰霊碑の文字の塗りなおしや折り鶴吊用飾り欄の修理、土台部分のセメントを玉砂利へと改修しました。



## “青に咲くホテル” GOTO TSUBAKI HOTEL 開業5周年

GOTO TSUBAKI HOTELは令和元年6月15日に五島列島福江島の玄関口に誕生しました。島の花「椿」を冠した新しいスタイルのホテルとして、今年で開業5周年を迎えます。開業以来、島内外からお客様をお迎えし、多くの方にご利用いただきました。

今後もさらに快適かつ心温まるホテルを目指してまいります。



## 楽64号 日本地域コンテンツ大賞 2024にて優秀賞を受賞

「長崎を知る、遊ぶ」をコンセプトに長崎の歴史や文化などの情報を発信する季刊誌「楽」。この度「日本地域コンテンツ大賞2024」にて、楽64号が内閣府地方創生推進事務局長賞 地方創生民間部門 優秀賞を受賞しました。

